

6月4日 土曜日 自然と再エネが共生するまち度会町

◎度会町は伊勢志摩の範囲、人口↔8000人、自然と共存しているまち

◎度会町から総合文化センター↔高速道路45分、度会町から伊勢神宮↔15分

◎宅地1%、森林85%（ほとんどが山）、宮川がある

◎度会7mountain（3～4年前）

◎SUP（スタンドアップパドル）宮川で出来る。ボードの上に立って漕ぐ。

◎度会ウインドファーム

●コスモスエコパワー（株）コスモスグループ

●85mの大きさ 1基2000KW×25基＝年間50000KW 30000世帯の消費電力

◎特産物…お茶

●生産ランキング 1位 静岡県 2位 鹿児島県 3位 三重県

●マスコットキャラクター…お茶の妖精 ティーナ

●上からドローンで見ると生産者さんもびっくりするほど茶畑が整っていて綺麗

●子供たちも茶摘みや田植えなどの教育も充実している↔デジタル時代だからこそリアル体験

◎方言…めきち↔クワガタ わっけん↔とても、めっちゃ

◎伊勢茶

●普通煎茶…一般的な茶葉 旨味と渋味が調和 爽やか

●深蒸し茶…一般の茶葉より長く蒸す 濃厚

●かぶせ茶…一定期間覆いをして日光を遮る（光を当てると渋味が出やすい）

◎品種

●やぶきた…香気と滋味 県内80%

●さえあかり…早生品種でやぶきたより多収 病害虫に強い

●おくみどり…晩生品種 樹勢が強く栽培しやすい 濃い緑 香りが強い

◎お茶になるまでの工程

●摘採↔蒸し↔葉打ち、粗揉↔揉捻、中揉、精揉、乾燥

◎手揉み製茶↔便利にしたのが機械製茶

●手揉み技法を後世へ

●お茶が料理についてくるのではなくお茶をメインに料理を考える（お茶に合う料理）

●PRとして首都圏でコラボしてメニュー開発

↔カフェだけでなく創作料理、BAR、イタリアンレストランなど30店舗ほどコラボ

◎度会カフェリョクプロジェクト（学生とコラボ）

●2016年から7年目

●伊勢茶や日本茶の普及、地域活性化、座学では得られない実学を

◎主な活動例

●お茶に合わせた料理のアイデアシェアリング

●伊勢茶PRポスターデザイン、キャッチコピー

●伊勢茶を使ったパン作り、配合割合の決定、具材の検討会

●宇治山田の和紅茶販売

●ワークショップ

●伊勢茶PR動画撮影 など

◎宇治山田の和紅茶のパッケージ

●捨てにくいように物入れにできるものを

●箱だと鞆に入れても潰れにくい

◎コロナの影響でイベントなどが中止に…

●ZOOM開催や様々な大学とのZOOM交流

◎この経験から主体性や0から何かを生み出す力が鍛えられた

◎SDGsも展開していきたい